



武蔵野

学校だより NO. 4
令和 5 年 7 月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 大河原 博



武蔵野小 HP

I (アイ) メッセージのすすめ

校長 大河原 博

昨日の学校公開では、多くの皆様に御来校いただきありがとうございました。子供たちが学校で頑張っている様子は御覧いただけただけでしょうか。授業中にしっかり発言している子、ノートを丁寧に書いている子など、子供の頑張る姿は様々です。また、集中して話を聞いたり、じっくり考えていたりなど、目に見えにくいけれど、頑張っている子もたくさんいます。ぜひ、お家でも褒めてあげてください。

さて、保護者の方との会話の中で、このような話を聞くことがあります。「我が子と話していると、つい注意が多くなってしまふ。」、「高学年になると、子供がなかなか話をしてくれない…」などです。どの家庭にもあることかと思ひます。

あるところに、家でほとんどお手伝いをしない子がいました。家族との会話も疎ましがり、思春期を目前に心配をしていました。その子が突然、料理に興味をもち、家の人と一緒にオムライスを作りました。ふだんは何一つ手伝いもしないのに、このときは頑張って、とてもおいしいオムライスができました。形はまだままだでしたが、家族は大変喜びました。

もし、皆さんがこの子の家族だったら、この子にどのような言葉掛けをしますか。

きっと次のように考えたのではないのでしょうか。「がんばって作ったね。えらいよ。」「おいしいのができてよかったね。」「やればできるんだね。また作ってね。」…褒めることが大切だということで、このように考えた人は多いと思ひられます。もちろんいづれも正しい褒め方でしょう。

一方、これらとは別に「一緒に作れて楽しかったよ。」「協力してくれてありがとう。」という声のかけ方もあります。これらは、私 (I=家の人) が喜びを感じ、それを子供と共有しようとしている「I (アイ) メッセージ」というものに分類されます。

先ほどの「がんばって作ったね。」というの、あなた (You=子供) が主語になる「You (ユー) メッセージ」です。

では、どちらの方が子供にとって嬉しいのでしょうか。例えば、自分がたまにしか作らない料理をしたとき、家族に「えらいね。がんばったね。やればできるじゃん。」と言われたら、上から目線で嫌だと感じる子や、照れくさくて「うん、そうだね。」と言えない子もいるかもしれません。しかし、I メッセージは、褒める側が感じていることを伝えているので、否定しにくく言葉を受け入れやすくなります。

I メッセージ、You メッセージは、ともに利点と欠点があります。I メッセージは、柔らかい印象で相手に受け入れやすく円滑に人間関係を築けます。半面、相手の理解度を確認しないと抽象的で伝わりにくい場合もあります。また、You メッセージは、状況によっては押しつけられているように感じ、うまく気持ちが伝わらない場合もありますが、分かりやすく、短い褒め言葉として続けて使うと相手を元気づける効果もあります。両方を組み合わせて使うのがよいのでしょうか。

当然ながら、私たち教師は、言葉掛けもプロでなければなりません。本校の教職員も、感謝の気持ち、喜びの気持ちを伝える「I (アイ) メッセージ」を意識しながら指導していきたいと思ひます。ご家庭でもぜひ実践していただければ幸いです。